

# 愛知県環境影響評価審査会小牧岩倉ごみ処理施設部会会議録

## 1 日時

平成22年11月2日（火）

午後2時から午後2時50分まで

## 2 場所

愛知県自治センター 8階 D会議室

## 3 議事

- (1) 小牧岩倉衛生組合環境センターごみ処理施設更新に係る環境影響評価準備書について
  - ア 関係市長意見について
  - イ 部会報告について
- (2) その他

## 4 出席者

### (1) 委員

北田部会長、内田委員、那須委員、成瀬（治）委員  
（以上4名）

### (2) 事務局（愛知県）

（環境部）伊藤技監

（環境活動推進課）打田課長、近藤主幹、伊藤主任主査、高橋主査、  
後藤技師

（大気環境課）加藤主任、川口技師

（水地盤環境課）加納技師

（自然環境課）小川主査

（資源循環推進課）戸田主査、大橋主査

### (3) 事業者等

（小牧市）仲根課長

（小牧岩倉衛生組合）丹羽課長、平岩技監、後藤係長、岩本主事

## 5 傍聴人等

傍聴人10名、報道関係者1名

## 6 会議内容

### (1) 開会

### (2) 議事

ア 小牧岩倉衛生組合環境センターごみ処理施設更新に係る環境影響評価準備書について

- ・ 会議録の署名について北田部会長が、内田委員と那須委員を指名した。
- ・ 資料1（小牧岩倉衛生組合環境センターごみ処理施設更新に係る環境影響評価準備書に関する関係市長意見）、資料2（小牧岩倉衛生組合環境センターごみ処理施設更新に係る環境影響評価準備書に関する部会報告(案)）について、事務局から説明があった。
- ・ 資料2の部会報告（案）について、本日の部会を欠席した委員へ事前に送付して意見を求めたが、委員から特に意見は寄せられなかったことについて、事務局から報告があった。
- ・ 資料2の項目のうち、「8 温室効果ガス」を「8 温室効果ガス等」に修正することについて、事務局から説明があった。

### < 質疑応答 >

**【成瀬（治）委員】** 資料2の2（1）の指摘事項について、現地地形の起伏を反映するために使用した三次元マスコンモデル等による計算過程をわかりやすく記載することを求めているが、準備書に記載されているこれらモデルの予測結果についての記載をどう考えるのか。

**【北田部会長】** 通常行われる平坦地形における大気質の予測では、地形に沿った上下方向の風の流れは考慮されないが、今回は起伏のある地形のため、三次元マスコンモデル等により起伏に沿って上下方向に移動する風の流れを考慮した予測が行われている。今回は通常と異なる方法で予測が行われていて計算過程がわかりにくいことから、計算過程をわかりやすく記載することを求める趣旨で指摘している。

**【事務局】** 予測結果自体については、準備書に明確に記載されており、結果に至る計算過程をわかりやすく記載するよう求めたものである。

**【成瀬（治）委員】** 計算過程をわかりやすく示すことも大事だが、それとと

もに予測結果についてもわかりやすく記載することも必要ではないか。三次元的な予測計算を行っており、そのことを説明した上で、起伏がある地形の地上 1.5mにおける予測結果であることなどを明確に示すべきではないか。

【事務局】 ご指摘を踏まえ、資料2の2(1)について、「…予測結果とともに、計算過程をわかりやすく記載すること。」と修文することとしたいが、いかがか。

【北田部会長】 指摘の趣旨を踏まえた修文案だが、「…予測結果とともに、その計算過程をわかりやすく記載すること。」としたらどうか。

(異議なしの声)

【内田委員】 資料2の2(2)の指摘事項において、低公害型車両の積極的な導入を求めているが、騒音の低減に資するような低公害型車両を導入することは可能なのか確認したい。

【事務局】 準備書の408ページに、資材等の運搬車両の走行に伴う騒音に係る環境保全措置として、低公害型車両の積極的な採用に努める旨が記載されている。低公害型車両は騒音対策にも有効と考えられ、沿道環境への影響低減の観点から、こうした環境保全措置の徹底を求める趣旨である。

自動車騒音については、単体規制が行われており、車両が新規に型式登録される年次により騒音の規制値が強化されていることから、発生する騒音のより小さい運搬車両を採用することなども含まれるものである。

【北田部会長】 事務局から、資料2の「8 温室効果ガス」を「8 温室効果ガス等」に修正するとの説明があったがなぜか。ここに記載されている内容は、温室効果ガスに関するものであるがどうか。

【事務局】 準備書で事業者が選定した環境影響評価の項目名と整合を図る趣旨である。

【北田部会長】 資料2の4(4)では、植栽する草木について周辺植生に配慮した植物種の選定を求めている。一方、資料2の5(2)では、擁壁の緑化に対して早期緑化が可能な工法等の採用を求めている。擁壁の緑化についても、周辺植生に配慮した植物種の選定を求めるということで良いのか。

【事務局】 そのとおりであり、資料2の4(4)は、擁壁の緑化も

含め植栽する草木全般について、周辺植生に配慮した植物種の選定を求めているものである。

・ 部会長から、部会報告（案）の一部を以下のとおり修文し、審査会で報告することとしたいとの発言があり、出席委員の了解が得られた。

## 2 大気質、騒音

（1）大気質の予測において、現地地形の起伏を反映するため使用した三次元マスコンモデルや移流パフモデル等による予測結果とともに、その計算過程をわかりやすく記載すること。

## イ その他

・ 事務局から特にない旨の発言があった。

## (3) 閉会